

令和2年度

事業報告書及び収支決算書

一般財団法人 下呂ふるさと文化財団

# 令和2年度 一般財団法人下呂ふるさと文化財団事業報告

## 1. 下呂交流会館指定管理事業

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による、臨時閉館、自主事業の中止・延期や企画の変更、施設利用のキャンセルなど、翻弄された一年となりました。下呂交流会館からは感染者を出さない、広げないということを最優先として会館の運営に当たったこの1年を時系列でふりかえりたいと思います。

下呂市からの要請を受けて、4月4日の午後から4月19日までを臨時休館とすることが決定しました。（その後5月31日まで延長）これにより、東京2020聖火リレー、下呂温泉いで湯卓球大会の大型利用が、キャンセルとなりました。下呂市や岐阜県から発せられる情報を注視し、会館が取るべき感染対策を講じ、必要に応じて更新し、その都度、その情報をホームページ等で発信しました。休館中は建物周りの草取り、ビオトープの除草と泥上げ、地下の文書の移動と処分、アリーナの器具庫の大掃除など、日常では行うことができなかった大掛かりな作業にあたりました。この間の委託業務については清掃業務を縮小すること、舞台技術者の派遣を停止するなどにより、経費節減に努めました。

下呂交流会館の再開は、県有スポーツ施設の再開に合わせ、6月1日とすることを決定しました。再開にあたっては、「下呂交流会館の感染拡大防止策」および「感染防止チェックリスト」に沿って運営することとし、利用責任者には、各種制限をご理解いただくこと、全員の健康チェックを行い、その情報をまとめた、「一覧表」を作成していただくことを必須としました。各施設の定員を制限するとともに、比較的感染のリスクが高いと言われる、アリーナ観客席、更衣室、シャワー、メディアラボ、プレイルームは当面使用中止とし、共有スペースのテーブル、イスは撤去しました。「令和2年度文化芸術振興費補助金（文化施設の感染症防止対策事業）」について文化庁に申請し内定をいただきました。

降り続いていた雨が、7月7日にはたいへん激しくなり、河川の水位も危険レベルに達したため、8日水曜日の未明には大雨特別警報が発令され、これに伴って下呂交流会館は市からの指定避難所開設要請を受けました。午前3時過ぎには2人の職員が会館に参集、避難所を開設した市の職員をサポートしながら、朝までサービスセンターで待機しました。そして臨時の勤務シフトにより、8日の昼から夜そして日付をまたいで、9日木曜日の朝を迎え、避難所が閉鎖される夕方までサポートにあたりました。今回のこの避難所開設に伴って生じた、(生じると予想される)問題点を探り、我々指定管理者がとるべき行動、行う業務について明確にしておく必要があると認識し、市と協議をして覚書を交わすこととしました。

8月になり利用中止としていたアリーナ観覧席と100人に制限していたホールの観客席を1/2以下に間引いての利用可能とし、主催者が感染対策を適正に行えるかどうかを確認の上、再開することにしました。そして利用後には座席等の消毒作業を会館職員があたることとしました。8月4日には、山内市長に会館を訪問していただき、施設の視察と開館以来の実績報告、意見交換を行いました。市長には会館の運営全般について、また新型コロナウイルスの感染拡大防止対策について高く評価をいただきました。市長の意向として、下呂温泉病院利用者の待合にも利用できるような図書スペースを設けること、会館周辺をリハビリや散歩コースにすること、などについて提案を受けました。また、会館からは9月以降に、予定しているコンサート等について、開催の可否の判断を仰ぎました。これに対しては、国、県ともにコロナ対策と経済の両立を目指している、感染対策をしっかりと行った上でぜひ開催してほしい、というご意見をいただきました。これを受けて、9月5日の「シナジーナイト」を再開後第一弾として、会館正面の外階段を使用して限定人数にて開催しました。22日には、外出もままならず、ストレスをかかえてきたであろう子どもたちに、何か楽しい体験をしてほしいとの気持ちを込めて、劇団四季出身の俳優たち「かぷりっちょ」による無料コンサートを企画しました。「無料で子どもたちと楽しめるこんな公演が観られてうれしかった。」「感動で涙がでた。」などの感想が寄せられました。収支を度外視したのですが、この時期に我々が行うべき事業として相応しかったと考えます。施設利用については、8月か

ら12月において前年比40%ほどと少し改善の兆しが見えてきたころでした。

11月15日、16日には、泉ホールにおいて「全国エコツーリズム大会 in 下呂」が開催されました。下呂市ではDMOによるエコツーリズムの推進が取組まれ、DMOはマーケティング、エコツーリズムは市民参加の宝の活用と保全という、それぞれの強みを活かし融合した取組がされています。当館も誘致宣伝委員会のメンバーとしてDMOにかかわっており、持続可能な観光地づくりの一端を担うことを意識しながら今後の誘致活動を行っていきたいと考えます。

12月からは職員に「下呂交流会館職員 健康状態自己チェックシート」の記入と提出を義務付けました。この頃から新型コロナウイルスの再拡大が起り、1月16日～2月7日（後に3月7日まで延長）の期間について国の緊急事態宣言が岐阜県に発出されました。これに伴い下呂市から、閉館時間を20時にすること、新たな予約は下呂市内の利用者のみにするとの方針が出されました。岐阜県は2月末に対象区域から除外され、3月1日からは営業終了時間が21時、3月8日からは通常通りの22時となりました。下呂交流会館が新型コロナウイルスのワクチン接種会場の候補となるとのことで、2月9日に施設の利用方法などを健康医療部との間で確認をし、4、5月の週末で空きがある日程を確保しました。2月16日には、雨漏り、浸水、アリーナフロアの部分的不良など懸案となっている施設の不具合について、下呂市、元請け業者、施工業者、下呂交流会館の4者にて今後の方針について確認をしました。また、下呂体育館の取り壊しに伴い下呂交流会館の定期利用を予定している、しらさぎスポーツクラブの各団体に来ていただき、利用についての説明会を開きました。

3月12日には、翌日に開催される大阪交響楽団特別公演の指揮者とピアニストによるトークイベントをマルチスタジオにおいて、会館の担当者の進行で開催しました。「この道を目指したきっかけ、翌日の演奏曲の聴きどころ」などを伺い、明日の公演により親しみがわく内容となりました。その大阪交響楽団特別公演は新型コロナウイルスにより昨年より延期となったもので、1年越しで、やっと実現することができました。大手住宅メーカーの協賛により、経費の大部分を賄えたため、本格的なクラシック作品を下呂市民に楽しんでもらうことができました。16日には、井戸端会議5周年特別企画『ミュージカル俳優の魅力を探る』を開催、こちらも会館の担当者が司会進行を務め、企画者ならではの思いのこもったイベントとなりました。また、これに合わせてライブ配信を実施、通常の視聴チケット、それに下呂市を応援する寄付つきチケットも合わせて販売したところ、全国の多くの方に賛同いただき、その思いを届けていただきました。今回、文化芸術の力で街の支援とPRという新たな仕組みを構築することができました。20日には、市民から募集して制作した「オープンマイク2021 リモートで歌ってみた！」の動画を「下呂交流会館 YouTube チャンネル」に公開しました。小学生から70代の市民による多ジャンルの演奏が近くの野山、駅、道の駅、自宅などで収録されています。これについても、市民活動をサポートする新たな方法が見つかったと感じています。今やるべきことは何か、感染防止対策は十分なのか、会場や座席をどう使うのか、ライブ配信やYouTubeが利用できないか、などコロナ禍でもできる方法を研究しながらチャレンジした結果として、企画担当が新たなスキルを手にし、下呂交流会館の事業に新たなカラーを与えられたのではと考えます。

新型コロナウイルス、さらに豪雨による影響で令和2年度の施設利用の予約がキャンセルとなった件数は135件、利用予定であった人数は34,248人でした。予約前に開催を断念していたものを含めると、さらに大きな数字になったと思われます。

## **2. ふるさと文化振興事業（財団独自事業）**

基本財産運用収入によって実施するふるさと文化振興事業については、各事業の性質を見極めた上で、新型コロナウイルスの感染を防止するため、すべての事業を中止または次年度へ延期と判断しました。

令和2年度 理事会・評議員会 議決事項等

	提出日	議決日	内 容
監 査	5月7日	5月7日	・決算監査（令和元年度 事業報告及び収支決算報告ほか）
第1回 理事会	5月12日	5月12日	・令和元年度 事業報告及び収支決算報告の承認について ・令和元年度 公益目的支出計画実施報告書の承認について ・令和2年度 定時評議員会の開催について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
第1回 評議員会	5月28日	5月28日	・令和元年度 正味財産増減計算書及び貸借対照表並びにこれらの 付属明細書の承認について ・評議員および役員の選任について
第2回 理事会	6月1日	6月1日	・代表理事の選任について ・業務執行理事の選任について
第3回 理事会	10月29日	10月29日	・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
第4回 理事会	3月11日	3月11日	・令和2年度 第1次補正予算について ・令和3年度 事業計画および収支予算について ・令和2年度 第2回評議員会の開催について
第2回 評議員会	3月18日	3月18日	・令和2年度 第1次補正予算について ・令和3年度 事業計画および収支予算について

一般財団法人下呂ふるさと文化財団 評議員、役員名簿

評議員（任期 令和2年5月28日～令和6年5月定時評議員会）

氏 名	初回就任年月日
野村 勝	H24.4.1
松山 則樹	H28.5.27
細田 芳充	R1.5.28

監 事（任期 令和2年5月28日～令和6年5月定時評議員会）

氏 名	初回就任年月日
中島 祐子	R1.5.28
清水 幹男	R2.5.28

理 事（任期 令和2年5月28日～令和4年5月定時評議員会）

役 職 名	氏 名	初回理事就任年月日
代表理事	二村 文康	H24.4.1
業務執行理事	今井 雅彦	R1.5.28
理 事	田口 広宣	R2.5.28
〃	熊崎 敬子	H24.4.1
〃	萼 富美子	H24.4.1
〃	住 智治	H26.5.26
〃	永田 光由	H30.5.28

# 令和2年度実施事業

## 1. 下呂交流会館の指定管理事業

(1) 会館の運営に関すること

- ①責任者ほか必要な人員の配置
- ②会館の利用申請の受付・許可
- ③利用料金の収受
- ④舞台設備の管理・操作
- ⑤広報・宣伝
- ⑥施設内のカフェスペース、自動販売機設置に関すること

(2) 施設等の維持管理に関すること

施設の適正な維持管理のため、清掃、施設・設備点検等の保守点検及び修繕、植栽保全等敷地内環境美化を行った。

- ①清掃業務
- ②建築物環境衛生管理点検報告業務
- ③電気・空調・給排水衛生設備管理
- ④施設・設備保守点検
- ⑤特殊建築物定期点検報告業務
- ⑥修繕
- ⑦植栽の管理
- ⑧駐車場の管理
- ⑨備品の管理
- ⑩施設内の秩序を維持し、事故、盗難、破壊等の犯罪及び火災等災害の発生を警戒・防止し、財産の保全を図るとともに利用者の安全を守るために、保安管理を適切に行い、開館時間以外の時間帯については、オンラインセキュリティーシステムによる機械警備を行った。

## (3) 事業の企画及び開催に関すること

## 令和2年度 自主事業一覧

形態	事業名		実施予定月
鑑賞型	ファミリー (幼児)	<u>「ケロポンズ ファミリーコンサート」</u>	<u>翌年度へ延期</u>
	クラシック・ポップス	<u>「NAOTO&amp;清塚信也・デュオコンサート」</u>	<u>翌年度へ延期</u>
	オーケストラ	「大阪交響楽団特別公演」(振替公演) 指揮者 柴田真郁×ピアノ 仲道郁代トークイベント	3月13日 3月12日
	ジャズ	「マリーーン スパースリーサム」	10月9日
	お笑いものまね	「コロッケ 芸能生活40周年記念コンサート」	11月23日
	ミュージカル系	<u>「中川晃教 コン서트」</u>	<u>中止</u>
	市民協働企画 「シナジーナイト」	<u>歌謡ロッカーズ (ロック)</u> 倉知誠 (ウクレレ) 若緒 (シンガーソングライター) 下呂石の時間と空間 (パーカッション)	<u>翌年へ延期</u> 9月5日 12月12日 3月5日
	映画	<u>「カツベン！」白雲座・鳳凰座</u>	<u>中止</u>
普及型	大人のための ワークショップ “井戸端会議”	<u>新日フィル交響楽団・牛田智大</u> <u>キエフ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」</u> <u>NISSAY 歌劇「セリビアの理髪師」オーケストラ</u>	<u>公演自体中止</u>
		<u>宝塚歌劇団「エル・アルコン」</u> <u>ミュージカル「ヘアスプレー」</u> <u>京都南座 芝居</u> <u>名古屋劇団四季</u>	<u>公演自体中止</u>
		県現代陶芸美術館、県美術館 (代替①) 井戸端会議 5周年特別企画 (代替②) 「ミュージカル俳優の魅力を探る」ライブ配信付 元劇団四季主演女優&元宝塚歌劇団トップスター	10月23日 3月16日
	子ども、大人	かぶりっちょ (代替) 「わくわく コン서트」 こども向け 2回 「ドラマチック コン서트」 大人向け 1回	9月22日
	朗読劇	<u>「この子たちの夏 1945・ヒロシマナガサキ」</u>	<u>翌年度延期</u>
	地域貢献型 (参加交流)	市民協働・出演	まめ1ライブ YouTubeチャンネルに公開 オープンマイク 2021 リモートで歌ってみた!
市民参加		<u>タッチスタインウエイ (ピアノ体験)</u>	<u>中止</u>

(4) 危機管理体制の整備、運用に関すること

- ①緊急時の対策及び防犯、防災対策、事故等の未然防止及び事故発生時の対応について、マニュアルに基づき、従事者に指導及び訓練を行った。
- ②災害等の発生時には、下呂市地域防災計画に基づく防災上重要な施設の管理者としての責務をはたす。

\* 7月8日の未明に大雨特別警報が発令、下呂交流会館は市から指定避難所開設の要請を受けた。8日午前3時から、9日夕方に避難所が閉鎖されるまで避難所を運営する市職員のサポートにあたった。

- ③利用者の安全を図るため設置された、自動体外式除細動器(AED)の日常の動作確認を行った。

(5) 市民協働

- ①市民協働による運営を推進する。

- ・アクティブサポーターズ

- たくみ隊 事業の企画・運営 (令和2年度登録者 11人)

- もてなし隊 ホールスタッフ (令和2年度登録者 16人)

- ・ピアノ弾きこみボランティア (令和2年度登録者 10人)

- ②下呂交流会館運営向上委員会の開催

会館の利用者代表、行政、観光業代表により構成する下呂交流会館運営向上委員会を開催し、会館のより良い管理運営を目指す。\*令和2年度は案件が無く、開催しなかった。

(6) 行政との連携

下呂市の担当部署及び関係部署と下呂交流会館による、下呂交流会館運営協議会を開催し、下呂交流会館のよりよい管理・運営を目指して行政との意見交換を行う。

\* 8月4日、山内市長及び担当課に会館を訪問していただき、施設の視察と開館以来の実績報告、意見交換を行った。

(7) 誘致・宣伝・販売促進

- ①誘致・宣伝

- ・月ごとの誘致宣伝委員会に出席し情報交換を行った。

- ・観光協会等と連携し旅行者への誘致活動を行う。(旅行者キャラバンは中止となった。)

- ②チケット販促 市内各地へ出向きイベントの紹介、チケットの販売を行った。

(8) 定期刊行物による情報発信

交流会館でのイベントの周知のため情報発信を行った。

事業名	内容	頻度
定期刊行物による情報発信	広報紙の発行 アクティブタイムス	年間
会館ホームページの運営	イベント関連情報の随時更新	随時
ケーブルテレビによるイベント情報発信	情報提供番組「アクティブタイム」制作協力、出演	毎月1番組
メールマガジンによるイベント情報提供	下呂市メールによる情報提供	随時



## 2. ふるさと文化振興事業

- (1) 文化に関する研究会、講演会、鑑賞会等の開催  
地域文化・伝統文化の保護・育成と、芸術の普及・向上、文化の創造のための事業。

### ①講演会、見学会等

新型コロナウイルス感染防止のため中止または延期とした。

形態	事業名	会場	
講演会等	<u>ふるさと講座(A) 映画「カツベン！」</u>	白雲座・鳳凰座	<u>中止</u>
	<u>ふるさと講座(B) 「ブルーノ・タウトの旅日記抄から」</u>	下呂交流会館	<u>来年度へ延期</u>
見学会	<u>歴史探訪等</u>	小坂地域	<u>来年度へ延期</u>

### ②鑑賞会等

新型コロナウイルス感染防止のため延期とした。

形態	事業名	
制作、 発表	<u>(A) 映画「津軽のカマリ」上映と二代目高橋竹山ライブ</u>	<u>来年度へ延期</u>
	<u>(B) 絵画「小池昌弘 展」</u>	<u>来年度へ延期</u>

- (2) 地域文化及び伝統文化の育成援助

ふるさと文化振興助成金交付については、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

- (3) 文化資料及び芸術作品の調査研究と保護  
対象事業はなかった。

- (4) 情報の発信や公開のため、財団のホームページを運営した。

形態	事業名
情報発信、公開	ホームページの運営 <a href="http://gero-furusato.jpn.org">http://gero-furusato.jpn.org</a>